

AGILENT 7800 ICP-MS による 製薬分析の高速化

The Measure of Confidence

Agilent 7800 四重極 ICP-MS

システム設定と生産性向上ツールを搭載した 高性能 ICP-MS がもたらす驚くべき効果

現在、医薬品およびその成分中の金属の分析手法は変化の過程にあります。潜在的に有毒な元素不純物を測定するために、これまで使用されてきた比色分析法にかわって新たな機器メソッドが広がりつつあります。ICP-MS および ICP-OES を用いた新たなメソッドでは、必要なサンプルが少量で済み、不純物を個々に定量できます。また、新たな ICH-Q3D Step 4 および USP<232> メソッドで規制されているすべての元素を正確に定量できます。

こういった多くの利点をもたらされる新たなメソッドも、これから ICP-OES あるいは ICP-MS を導入しようとしている多くの製薬ラボにとっては簡単ではありません。Agilent 7800 ICP-MS は、最新のメソッドへのスムーズな移行をサポートします。サンプル前処理と分析を簡素化するハードウェア、メソッドの設定および最適化のほとんどを自動化するソフトウェアを備えているため、ICP-MS 分析を非常に簡単に実行できます。



Agilent 7800 ICP-MS は 信頼性の高い分析を 簡単に実現します。

世界のベストセラーとして実証された堅牢なハードウェアに、自動最適化ツールとプリセットメソッドを搭載した 7800 ICP-MS は、ラボの生産性を高め、ルーチン分析に革命をもたらします。

詳細については、ホームページを
ご覧ください。

www.agilent.com/chem/jp



Agilent Technologies

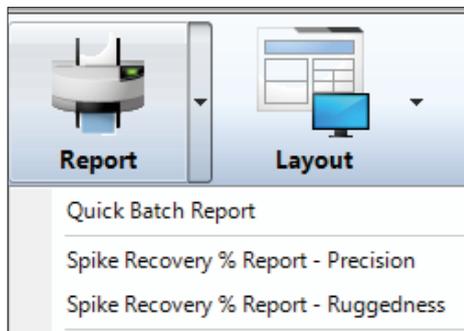
元素不純物を高い真度と信頼性で定量

製薬ラボで測定する一部のサンプルタイプは、ICP-MS で問題になることがあります。高濃度のマトリックスを含むサンプルや、有機溶媒に溶解したサンプルでは、プラズマに過剰な負荷がかかる可能性があります。また、ICH-Q3D および USP<232> の規制対象となる成分には、低濃度では測定が困難な高い毒性を持つ元素がいくつか含まれています。イオン化しにくいために感度が相対的に低い元素 (As, Cd, Hg) や、多原子干渉を受ける元素 (質量数 75 で As⁺ に干渉する ArCl⁺ など) もあります。

7800 ICP-MS のハードウェアは、これらの問題をすべて解決するよう最適化されています。高マトリックス導入 (HMI) 技術を搭載した堅牢なプラズマは、高濃度の溶解固形物 (最大 3%) にも対応できます。ソリッドステート RF ジェネレータは有機溶媒に容易に対処できます。また、標準のヘリウム (He) モードでは、一般的な多原子干渉をすべて低減できます。これにより、信頼性の高い分析結果を実現し、干渉補正式は不要になります。

元素不純物の分析ワークフローを簡素化

- 自動最適化ツール
- USP<232> 規制対象成分のプリセットメソッド
- 医薬品の QC とサンプル分析レポート

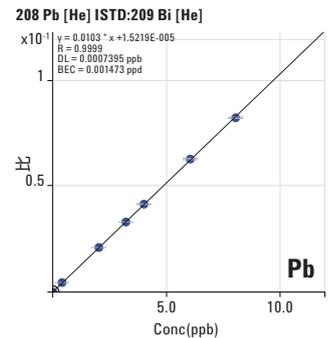
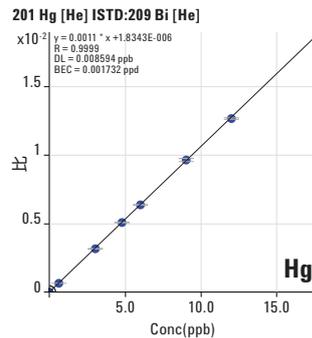
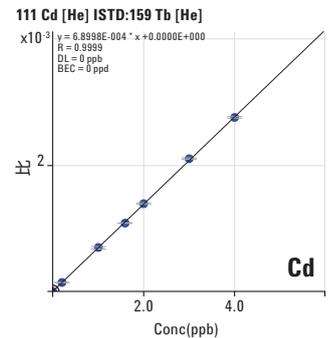
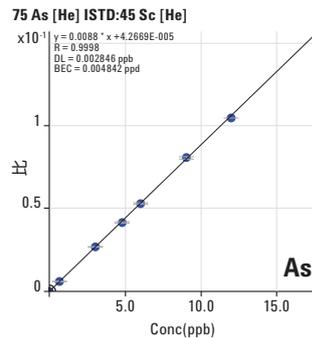


再現性 (バッチ内) と耐久性 (バッチ間) を示す、ICP-MS MassHunter のシステム適合性テストレポート

システムの適格性評価とコンプライアンス

アジレントは、最高レベルのコンプライアンスサービスを通じて、ICP-MS ハードウェアと ICP-MS MassHunter ソフトウェアの据付時および稼働性能適格性評価 (IQ/OQ) を実施しています。

アジレントのコンプライアンスソフトウェアパッケージは、1 台の ICP-MS で構成されるラボ向けの PC ワークステーションベースのソリューションから、複数の拠点や機器にまたがるグローバルなエンタープライズ向けのソリューションまで、規模や種類を問わずあらゆるラボに最適です。



毒性微量元素「ビッグ4」の検量線

詳細については、ホームページをご覧ください。
www.agilent.com/chem/jp

本資料に記載の情報は、予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2015
Printed in Japan June 1, 2015
5991-5880JAJP

